

旅と文化

発行所 田区30 国会
東京都千代田区
東神保町2-1
財団法人 旅行研究協会
電話 (30) 6581・2426
編集・発行人 黒井 永

本紙の主な内容
①輸送面より見た今後の修学旅行
②修学旅行の補助金返上
③教師の指導力
④バス利用の多い大都市周辺
⑤道路整備が進展の鍵
⑥問題残す経費と疲労度

各地に新設気運昂まる 快適な専用電車大好評

快適な専用電車大好評 国鉄は営業とサービスに苦悩

東京、京阪地区の修学旅行に対するサービスが、「ひのけ」以来、その安全快適な面から非常に好評を得ているが、この種の修学旅行専用電車を地方にも新設して欲しいとの運動が目下、愛知、岐阜、三重等の中京地区をはじめ、北九州、東北地方に起りつつある。こうした情勢に対し、国鉄当局の意向は教育界に多大の関心を集中している。以下その方針を打診してみた。

今後の修学旅行

輸送面はどう改善されるか

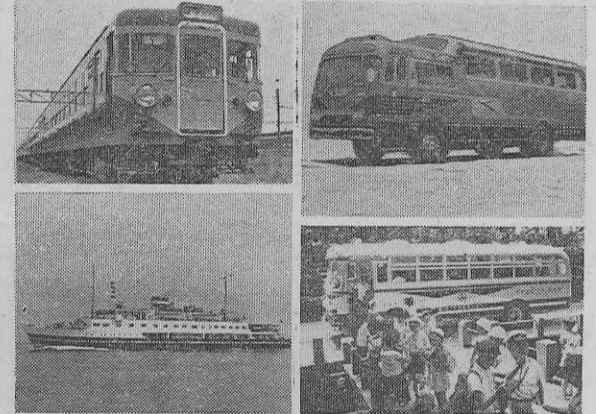
専用電車は大変評判がよいので、近い将来は、専用電車と類似した湘出来得ればよいのだが、専用電車の製作には非常にかかると見られて、年間の利息も約三千万円利用は、車輻数が少なく、当分の間にも及んでいない。特にこの問題解決は望まない。トーンオフの専用電車は、修学旅行専用電車がこれを利用して、赤字を出してまで、新しい専用電車を製作すること、現段階では考えていない。しかし、これが代案として次のような計画を持つて、先づトーンオフの期間を利用して、若しその専用電車が新線に移ると、旧線のダイヤが相

主張

修学旅行の 安全輸送確立のために

今年も秋の修学旅行が、いよいよ始まった。楽しい修学旅行を眺めるにつけても、安全な輸送が行われることを祈りつつはあらねばならないが、父兄や先生の気持である。それ程に日本の修学旅行、特にその輸送面の心配は通じてはならないのが実態である。修学旅行における輸送面の問題は、何はさておいても緊急に解決しなければならない問題である。

この問題に際しては、東京、京阪神の約四十万人の生徒だけで、全国三百万の手供連は、この輸送面を確保し、安全な輸送が行われることを祈りつつはあらねばならないが、父兄や先生の気持である。それ程に日本の修学旅行、特にその輸送面の心配は通じてはならないのが実態である。修学旅行における輸送面の問題は、何はさておいても緊急に解決しなければならない問題である。



【写真説明】(左)修学旅行専用電車 (右)長距離用の新鋭大型バス (左下)修学旅行の専用船 (右下)現在の見学用大型バス

バス利用の多い大都市周辺 道路整備が進展の鍵

建設省では「舗装を施さないも、別に高速自動車道計画もあつた」は道路でなくとも、近い将来には自動車道計画もあつた。建設省の見解を聞いてみた。

問題残す経費と疲労度

建設省では「舗装を施さないも、別に高速自動車道計画もあつた」は道路でなくとも、近い将来には自動車道計画もあつた。建設省の見解を聞いてみた。

教師の指導力が大切

東京教育大学教授 理学博士 青野 寿 郎

修学旅行の印象をある生徒に「つれ」と「寺と宿屋だけであつた」と答えたが、これは現在実施されている修学旅行の断面を示すものといえる。未知の地域を探索し、これを科学的に考え、このことが修学旅行の一つの大きな目的である。

修学旅行の輸送も、現在とは比較にならない程改善されている。たが、このため夜行列車を避ける必要がある。生徒が自分の目でよく観察したことがらをメモ書きしておき、宿屋に着いてから、生徒に各地域の発表を、能くして聞かせる。

さて、教師はそれをまとめるように、現在の修学旅行では、生徒自身に旅行する能力をつけることができないようである。決められた列車に乗り、約束された担当として指導方法が違つても、要するに修学旅行の効果を得るためには、教師の指導力のいかに最大の問題である。

修学旅行の補助金返上 問題化した青森県の八市町村

修学旅行に補助金返上制度は、この四月から実施されたもので、生活保護法、教育扶助を受けている要保護児童と重要保護児童を対象に、修学旅行費として一人当り小学生二百円、中学生八百円を補助し、同額が各市町村の義務負担となる。

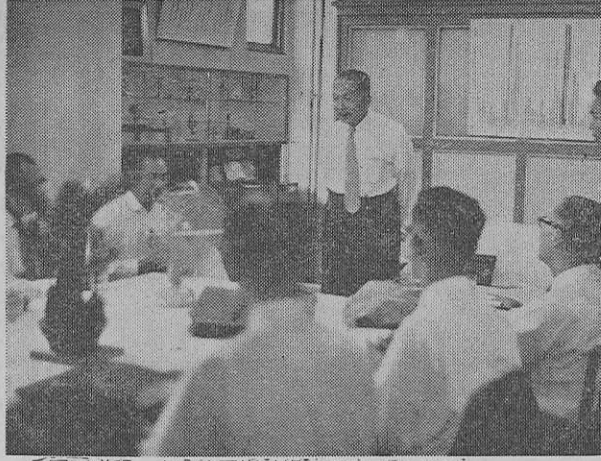
青森県では、四千二百人が適用を受け、百七十七万七千円の補助金が決定したが、八市町村をはじめ青森市、五所川原市、南津軽郡、浪岡町など八市町村が約十七万円、一人一人分の補助金の返上を申し出て、返上理由の補助金が少すぎるとして十分とはいえないと重要保護児童会員が補助の対象とならず、人選がむづかしいなどをあげているが、県教委が調べて文部省に報告した要保護児童と重要保護児童の

修学旅行の専用船
四国地方から各地へ修学旅行に行く生徒のため、関西汽船では一、二、三級の客船(上掲の写真参照)を修学旅行の専用船として来春より提供する。このことにより、修学旅行の負担が軽減され、修学旅行の活性化が期待されている。(全修協・愛媛県支部長伊藤 取説)

修学旅行 新設、国鉄へ陳情 専用電車

中京地区修学旅行研究 委員会連合の代表

快適で安全な修学旅行専用電車「みのり」号の出現は、全国に大きな反響を呼び、去る六月に発足した愛知修学旅行研究委員会や、八月に発足した岐阜県、三重県等の各修学旅行委員会が連合して、中京地区専用電車新設を要求する気運が盛り、三県の代表者七名が九月十八日東京へ、国鉄小倉副総裁や長瀬旅客課長に陳情を行った。



写真説明 中京地区修学旅行研究委員会連合の代表(立てるは杉山衆議院議員)

- 岐阜県代表 岐阜県修学旅行委員会副委員長 武藤 雄律氏
- 岐阜県市町村教育委員会連合会長 岩本 康吉氏
- 岐阜県中学校校長会会長 山本 種一氏
- 岐阜県修学旅行研究委員会事務局 伊藤 好道氏
- 三重県代表 三重県教職員組合副委員長 山本 種一氏
- 三重県代表 伊藤 好道氏
- 財団法人全国修学旅行研究協会理事 山本 種一氏
- 愛知修学旅行研究委員会会長 山本 種一氏
- 愛知市立小学校校長会会長 山本 種一氏
- 愛知修学旅行研究委員会事務局 山本 種一氏
- 宮本 秀吉氏 展開することになっている。

入選第二位第一席

修学旅行を効果的に行う爲の方法論

— 中学・高校の修学旅行改善策 —

私は毎年一回休暇をとって研究旅行に出かけるようにしているが、先年法隆寺を見学した時、たまたま多くの修学旅行団に出くわした。私は第三者として、あらためて修学旅行の実態を知らされた。ある中学生は走っているようにして前のものについて行く。金堂などは外から眺めるだけに入らないのである。せつかつの内陣の彫刻も構造も見学させない。五重塔の非常に特色のある斗拱についても説明されない。一体中学生は何を見学して帰るのだろうか。と考へてはおれなかった。生徒が集まっているのは、みやげ物店と飲物の店だけである。奈良国立博物館も

「みのり号」に乗って大喜び

甲府市連合 二千人の東京見学

甲府市立小学校連合の児童三千名が、九月七、八、九日の三日間にわたり、修学旅行専用電車「みのり」号を利用して、毎日二千名づつが専用電車で、日帰りの楽しい東京見学を行った。

七日第一陣の相生、湯田、千塚、富士川の各小学校五年生は午前十時、先生や父兄に附添われ、元気に品川駅乗換ホームに降りると各校コースに従ってそれぞれ都内見学に出かけた。快適な専用電車

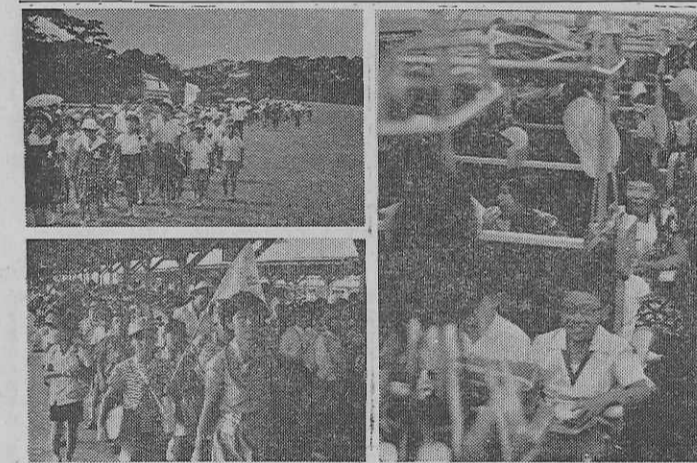
に乗って来たが、一人の事故者 銀座、月島、東京タワー(見学)もなく全員元気はつらつとして、を廻り、再び品川に帰って来た。

一方富士川や千塚、湯田の各校も相生小学校は品川より直に国際観光バス五台に分乗して、五反田上野動物園へ直行し、昼食休憩の後、国会図書館、国会議事堂(見学)宮城前(下車)交通品川駅に降り各校乗換して「みやげ物館(見学)等を経て、日本橋のり」に乗車し、一回元気に甲府市へ帰っていった。

この旅行を取扱った近畿日本ツーリストの部長福原賢次氏は、次の様に語っている。

今回専用電車「みのり」号に山梨の子どもを乗せて、楽しい秋の見学を先づ感謝したい。何しろ初めに中央線乗り入れたから、試運転もさることながら臨時電車のダイヤの組み入れには大変な御苦労だったと思う。次に乗車した子どもたちが、みな車内のエチケットを心得ていて行儀の良いのは常日頃先生方の道徳指導が徹底しているからであろう。私は甲府から一緒に乗って来たが、子ども達はみんな坐れるし、車内は奇麗で気持ちよいため、品川へ着くまで一人も疲弊する者が出なかった。

この専用電車の山梨乗り入れが一つの契機となり、関東周辺の電化地域の小、中学生が、同じようにこの専用電車を利用して、楽しい見学や修学旅行が行えるようになる日も遠くあるまい。



写真説明 (左上) 二重橋前を見学する児童 (左下) 品川駅下車した児童たち (右) 気持ちよい専用電車に乗って大喜びの学童たち

点から面まで進めたい 今後の修学旅行

東京都第一商業高校長 白石 藤夫

地の方にも接しない。引率教師は多事なかれ主義に徹しているが、無事故で生徒を帰校させること、修学旅行の最上の目的に思っている。これは修学旅行に喜んで出かける。京都市旅行して京都人を知らず、奈良に旅行して奈良の人達の生活の実際を知らずに帰ってくる。ただスケジューリングにしたがって古い神社や仏閣を巡り、土産物を買って帰校する。京都の市電が担う父兄はやりきれない。私はこの弊害をなくすため、修学旅行中であるかど生徒には全然わからない。自由行動の時間を重視している。学校へ上らせたいと願っている。

市へ帰っていった。

この旅行を取扱った近畿日本ツーリストの部長福原賢次氏は、次の様に語っている。

今回専用電車「みのり」号に山梨の子どもを乗せて、楽しい秋の見学を先づ感謝したい。何しろ初めに中央線乗り入れたから、試運転もさることながら臨時電車のダイヤの組み入れには大変な御苦労だったと思う。次に乗車した子どもたちが、みな車内のエチケットを心得ていて行儀の良いのは常日頃先生方の道徳指導が徹底しているからであろう。私は甲府から一緒に乗って来たが、子ども達はみんな坐れるし、車内は奇麗で気持ちよいため、品川へ着くまで一人も疲弊する者が出なかった。

この専用電車の山梨乗り入れが一つの契機となり、関東周辺の電化地域の小、中学生が、同じようにこの専用電車を利用して、楽しい見学や修学旅行が行えるようになる日も遠くあるまい。

編集後記

最近各地に結成されている修学旅行研究委員会の動きが目立ちながら、輸送面から見た今後の修学旅行について、各方面の意向を特集してみた。

全修学旅行研究委員会の修学旅行の問題点と研究は、各方面から修学旅行の参考書として非常に好評を博し毎日注文が協会本部へ殺到している。出版部数が少くないので、売切れない内に早く申込みされるべき。

修学旅行

……のご用命は→

近畿日本ツーリスト

本 社 東京都千代田区 国際観光会館内(23) 5561
東京営業局 東京都千代田区 駿河台メッセビル(29) 7771
関西営業局 大阪府天王寺区 上本町六丁目(77) 8551

新刊案内 限定出版につき売切近し

修学旅行の問題点と研究

A5版 264ページ 定価 300円 千40円

最も新しい修学旅行 参考書の決定版!

★ ★ ★ 多数の事例に基づいた修学旅行の問題点と研究がわかる
★ ★ ★ 修学旅行の道徳指導、安全指導、各教科との関連がわかる
★ ★ ★ 修学旅行の最新の資料が出ている

この一冊で最近の 修学旅行の動きがよくわかる

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
東京都千代田区 神田神保町2の30 振替口座番号東京36337番

昭和35年版

小学館の 三大自然鑑

予約受付中

新学習年鑑 二二〇円

説社会科年鑑 三八〇円

学年別学習図解事典 二八〇円

〈年鑑つき〉